

【アジア】

東南アジアにおける運輸関連の「一帯一路」プロジェクトの近況 Part 1

碓 知子 Crossborder Research Pte Ltd

1. はじめに

習近平国家主席が、2013年に初めて打ち出した一帯一路構想。この構想は、アジアとヨーロッパを陸路と海上航路でつなぐ物流ルートを構築し、その沿線上の地域に道路や港湾、発電所、パイプライン、通信設備、工業団地などのインフラを開発し、貿易・投資を促進することを目指す。構想への支出総額は一兆米ドルにも上る。

しかし、2020年2月のForbes誌によると、構想発表から7年たった現在も、何をもって一帯一路プロジェクトとするかの明確な定義もなく、達成すべき指標も示されていない。2013年以前から実施されていたプロジェクトが一帯一路プロジェクトと呼ばれることがある一方で、一帯一路プロジェクトとされていたプロジェクトが地元の反発を受けて「一帯一路」の看板を下ろすこともある。北京の中央財経大学によると、構想には138ヶ国が参加しているが、どこの国にどのような一帯一路プロジェクトがあるのか、公式のリストは存在しない。報道で一帯一路プロジェクトと言われているものは、一般的には中国が資金援助（融資）をし、中国企業が受注したり、中国企業がパートナーとなって行うPPPプロジェクトが多い。しかし中にはマレーシアのジョホールの鉄道事業のように、マレーシアが自前で出資し、中国企業がコントラクターとなっているものもある。

本稿では、東南アジアで、中国の資金援助、中国のコントラクターが受注、あるいはPPPに参画している運輸関連の主要なプロジェクトについて、近況を概説する。

2. 完成間近のラオス・中国高速鉄道

明らかに一帯一路プロジェクトの1つと言えるのが、2016年12月に起工したラオス・中国高速鉄道だ。この鉄道は、中国雲南省昆明からラオスの中国との国境都市ボーテンを通り、

首都ヴィエンチャンまでの427.2キロを結ぶ。ラオス国内は山岳地帯が多いため、75のトンネルと167の橋梁が建設され、2020年11月には75カ所目のトンネルの掘削が完成した。ラオス国内に敷設される414キロの鉄道全長のうち、トンネルは198キロ、橋梁は62キロに及ぶ。プロジェクトの総費用は報道により異なるが、概ね60億米ドルと報じられている。工事は順調に進んでいるように見られるが、その裏で忍び寄るのがラオスのデフォルトの危機だ。

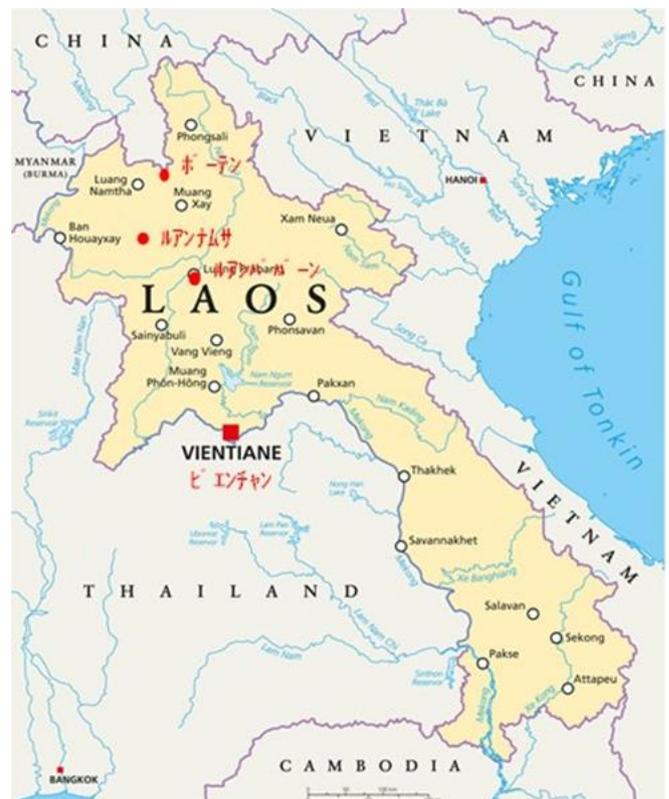


図1 ラオス・中国高速鉄道の主要通過地点

地図出典：<https://www.shutterstock.com/>

2020年8月、ムーディーズはラオス政府の債務発行体格付けを従来の「B3」から「Caa2」へと引き下げた。「Caa」は投

機的で安全性が低いとみなされ、信用リスクが極めて高い債務に対する格付。次いで9月にもフィッチ・レーティングスが、ラオスの長期債務格付けを「B マイナス」から重大な信用リスクがある「トリプルC」に2段階引き下げた。中国向けを中心とする公的債務の返済期限が迫る中、新型コロナウイルスの打撃で財政が悪化していることが格下げの主な理由だ。

鉄道建設費用60億米ドルのうち、6割にあたる36億米ドルが、中国輸出入銀行からラオス政府への融資で賄われる。残りの4割の24億米ドルは、ラオスと中国による合弁鉄道会社のLCRC（出資比率は中国70%、ラオス30%）が負担する。ラオス政府は合弁会社への出資金も全額は払えず、4.8億米ドルの融資を中国輸出入銀行から受けている。即ち、鉄道建設のための中国への借金は40.6億米ドルに上る。ラオスには鉄道以外に水力発電などのプロジェクトもあり、ラオスの対中負債は59億米ドルと、公的債務の半分を占める。これに対し、フィッチによれば、ラオスの外貨準備高は約13億米ドル。2021年からの4年間で毎年11億米ドルの債務が満期を迎え、デフォルトの危機が高まっているというのだ。もし、ラオス政府が対中債務の支払いができなければ、スリランカのハンバントタ港のようにラオス・中国鉄道が中国の手に渡る可能性もある。

3. マンダレー・ムセ鉄道をチャオピューまで延伸したい中国

一方、ミャンマーは債務の罠に陥る他国を見て、慎重な姿勢を崩していない。ミャンマーは中国と2,000km以上の国境を接し、中国にとっても、ミャンマーはインド洋に進出するための「出口」となるため、戦略的に重要だと言える。中国からミャンマーを通してインド洋に出るルートは、中国雲南省に隣接するミャンマー北東部のムセからマンダレーを経てヤンゴンに抜けるルートと、ムセからマンダレーを経てチャオピューに抜けるルートの主に2つがあるが、中国は後者を模索している。2011年に中国とミャンマーの両国政府はチャオピュー—ムセ間を結ぶ全長810キロメートルの鉄道を建設する計画で合意し、覚書に調印していた。テイン・セイン大統領（当時）は地元の強硬な反対を受けて計画を中断し、合意は2014年に失効したが、2018年に両国は事業化調査の実施で覚書に調印。中国中鉄二院工程が調査費用を全額負担する同事業の事業化調査が行われた。調査結果は2019年4月に提出されたが、ミャンマー政府は2020年6月、事業化調査の内容をスイスのコンサルタント会社に委託して精査すると

発表。パー・ミンミャンマー国鉄総裁は「事業がミャンマーのためにならなければ実施しない」と明言した。スイスのコンサルタント会社の名前は公表されていない。それでも、2020年6月に中国中鉄二院工程は、マンダレーからチャオピューまでの鉄道の事業化調査の実施を申請しており、雲南省からインド洋に抜ける鉄道の実現を目指している。

なお、中国・雲南省の昆明とミャンマー最大の経済都市ヤンゴンとラカイン州のチャオピューを高速道路で結ぶ構想もあり、2018年9月9日には両国間で覚書が結ばれているが、その後の進捗は報じられていない。



図2 ムセ、マンダレー、チャオピュー

地図出典：<https://www.shutterstock.com/>

4. チャオピュー深海港への出資比率引き上げに成功

ラカイン州のチャオピューをインド洋への玄関口とした中国は、チャオピュー深海港開発の実現にも力を入れている。チャオピューからマンダレーを経て雲南省に至る天然ガスと石油のパイプラインがあるため、チャオピュー深海港が開発されれば、中国はインド洋からマラッカ海峡を経由せず、直

接石油を輸入できるようになる。深海港事業も前政権下で合意していたものだが、事業費は90~100億米ドルと多額な上、中国の出資比率が85%と高く、国内では中国の影響が強すぎると危惧する声もあった。現政権は交渉により、ミャンマーの出資比率を30%に引き上げること、事業費規模も深海港のバース数は当初計画の10から2に減らし、総工費を13~15億米ドルと引き下げることで中国との合意を取りつけた。こうして2020年8月にチャオピューで深海港を建設する中国とミャンマーの合弁会社「チャオピュー経済特区深海港」(Kyaukphyu Special Economic Zone Deep Seaport Co. Ltd)設立がミャンマー政府から認可された。同社の株式は、中国の国有企業、中国中信集団(CITIC)が主導するコンソーシアムのCITIC ミャンマー・ポート・インベストメント(CITIC Myanmar Port Investment Limited)と、ミャンマー政府が支援するチャオピュー経済特区管理委員会の合弁会社が保有し、比率は中国側が70%、ミャンマー側が残る30%となる。

5. カンボジアでは高速道路

カンボジアには一帯一路の鉄道事業はないものの、国内電力の約20%を賄える規模の水力発電所等、中国主導のインフラプロジェクトが数多く存在し、中国の影響力が増加している。2019年にはカンボジア初となる全長190.3キロのプノンペン~シアヌークビル高速道路の建設が中国企業主導で着工し、2023年に完成予定となっている。シアヌークビルには日本のODAによる港湾が整備されており、またシアヌークビル~プノンペン間を結ぶ高速道路も2006年から2018年にかけてJICAが事業化調査を実施していた。

この高速道路はBOT方式で建設され、20億米ドルの建設費を負担するのは、中国路橋工程有限責任会社だ。同社は2020年8月に南シナ海でのミサイル実験にかかわったとして米国による制裁対象企業リストに含まれる中国交通建設集団有限公司(CCCC)の子会社だ。中国路橋は50年間の高速道路の通行料から投資を回収することになっており、この高速道路の建設ではカンボジアは中国に借金を負わない。しかし、2019年4月29日のNikkei Asiaは日本政府関係者のコメントとして、「カンボジアの高速道路の通行料金は高く設定することができないため、50年かかっても投資資金を回収することは難しい」としている。公表はされていないが、カンボジアは中国に路線地区の開発権や、路線から離れた地域の開発権も付与しているのではないかとする見方もある。

また、ベトナム国境のスヴァイリエン州のバベット市とプノンペンを結ぶ高速道路プロジェクトについても、中国国鉄

グループの中鉄国際集団が事業化調査を2020年9月に提出した。同区間の高速道路の事業化調査は2015年から2018年にかけてJICAが実施し、総工費は20億米ドル程度と試算していた。2020年11月の報道によると、カンボジア政府はJICAと中鉄国際の調査内容を比較しているという。

プノンペン・パペット高速道路の資金調達計画は公表されていないが、中国はこれまでにカンボジアで3,000kmに及ぶ高速道路の建設の資金援助を行っており、すべてがBOTというわけではない。カンボジアの対外債務の40%は中国向けで、額は45億米ドルに上ると報じられている。

6. 仏企業との独占契約を反故に

カンボジアの3つの国際空港(プノンペン、シエムリアップ、シアヌークビル)を運営するカンボジア・エアポーツは、フランスの空港オペレーター、ヴィンチ(Vinci)が70%、マレーシア・カンボジア合弁のムヒバ・マステロン・カンボジアが30%出資し、2040年までの独占運営権利を取得している。ところが、この契約に反して中国の資金援助による空港開発が始まっている。

プノンペン国際空港については現在の立地では拡張の余地が少ないとして、プノンペンから30~40キロ南に新空港が設立されるが、その開発主体は不動産、金融、ホスピタリティ業界などで事業を行うカンボジアのコングロマリット、Overseas Cambodia Investment Corp. (OCIC)だ。同社が90%出資し、カンボジア航空局が10%出資する合弁会社、Cambodia Airport Investmentが設立されている。開発総額は15億米ドルで、OCICは2億8,000万米ドルを合弁会社に出資しており、さらにOCICは李克強首相がカンボジアを訪問した2018年1月に、中国開発銀行と空港開発のための融資の枠組み協定に署名した。中国開発銀行は11億米ドルの融資を確約していると報じられている。OCICがいつのよう

に空港の開発権を取得したかは公表されていない。空港の周辺には商業施設や住宅も開発される予定だ。開発面積は2,600ヘクタールで、そのうち700ヘクタールが空港になる。2020年11月には中国の国有企業、中国冶金科工集団有限公司が4億500万米ドルで新空港の飛行場の設計建設を受注した。空港のターミナルは、中国国営の中建集団が建設する。設計は英国のフォスター&パートナーズが受注した。空港の開業は2025年を予定している。

世界遺産、アンコールワットの空の玄関口、シエムリアップでは2020年3月から新空港の建設が始まった。開発主体はアンコール・インターナショナル・エアポート・インベ

トメント。同社は雲南省の傘下の雲南投資ホールディングスが設立した会社で、BOT方式による55年の運営権を取得している。投資額は8億8,000万米ドルで、中国開発銀行、中国輸出入銀行の他、3つの商業銀行がファイナンスに参画している。飛行エリア、ターミナル、基礎工事、滑走路、排水システム等の工事は山西機械化建設集団会社が4,216万米ドルで受注した。なお、開業は当初2023年を目指していたが、2025年にずれ込む見込みだと報じられている。

新空港開業後、カンボジア・エアポーツが運営する既存のプノンペン空港は、国内線、貨物、要人用として利用されると報じられているが、2040年までの独占運営を条件に空港に投資をしてきたカンボジア・エアポーツにしてみれば契約違反には変わらない。新空港にカンボジア・エアポーツの実質的な親会社である仏ヴィンチになんらかの役割を担ってもらうことにするのか、違約金を支払うのか、カンボジア政府はハイレベルな協議を行っていると報じられているが、今のところ答えは出ていない。



図3 カンボジアのプロジェクト主要立地場所

地図出典：<https://www.shutterstock.com/>

パート2ではベトナム、タイ、フィリピン、マレーシアにおける一帯一路プロジェクトを概観する。

参考文献

- 1)一帯一路とは何か？ わかりやすく中国の経済構想を解説する
Business + IT, 28 May 2018
<https://www.sbbi.jp/article/cont1/34934>
- 2)Green Belt and Road Initiative Center
<https://green-bri.org/about-us>

3)How China Is Losing Support For Its Belt And Road Initiative

Forbes, 28 Feb 2020

<https://www.forbes.com/sites/wadeshepard/2020/02/28/how-beijing-is-losing-support-for-its-belt-and-road-initiative/?sh=8ae500d21990>

Laos

4)China-Laos railway completes last of its 75 tunnels

Global Constructino Review, 30 Sep 2020

<https://www.globalconstructionreview.com/news/chinalaos-railway-completes-last-its-75-tunnels/>

5)Can Laos profit from China rail link despite being US\$1.5 billion in debt?

South China Morning Post 10 Dec 2019

<https://www.scmp.com/week-asia/opinion/article/3041394/can-laos-profit-china-rail-link-despite-being-us15-billion-debt>

6)Construction of Vientiane station for Laos-China rail link begins

Bangkok Post, 5 July 2020

<https://www.bangkokpost.com/business/1946192/construction-of-vientiane-station-for-laos-china-rail-link-begins>

7) ラオス・中国高速鉄道プロジェクト：これまでの経緯、進捗状況、問題点

アジア経済研究所 2018年8月

https://www.ide.go.jp/Japanese/IDESquare/Overseas/2018/ISQ201830_012.html

Myanmar

8)試される一帯一路「債務の罠」の克服——中国—ミャンマー経済回廊の建設状況から考える

アジア経済研究所 2019年7月

https://www.ide.go.jp/Japanese/IDESquare/Eyes/2019/ISQ201920_027.html

9) China Railways set to conduct feasibility study for \$9bn Myanmar railway

Global Construction Review, 24 June 2020

<https://www.globalconstructionreview.com/news/china-railways-set-conduct-feasibility-study-9bn-m/>

10)Myanmar Government pulls Swiss firm to scrutinize China backed study on BRI project to connect Mandalay and Kunming
Thai Biz Myanmar.com 16 Jun 2020

<http://www.thaibizmyanmar.com/en/news/detail.php?ID=3224>

11) Construction on China's BRI Deep Sea Port to Start Soon in Myanmar's Rakhine State: Govt
 The Irrawaddy, 24 June 2020
www.factiva.com

12) At Kyaukphyu SEZ and beyond, local voices must be heeded
 BNI Multimedia Group, 8 February 2020
www.factiva.com

Cambodia

13) The Belt and Road in Cambodia: Successes and Challenges
 The Diplomat, 30 April 2019
<https://thediplomat.com/2019/04/the-belt-and-road-in-cambodia-successes-and-challenges/>

14) At Cambodia airports, China's Belt and Road elbows out Europeans
 Nikkei Asia, 29 Jan 2020
<https://asia.nikkei.com/Business/Transportation/At-Cambodia-airports-China-s-Belt-and-Road-elbows-out-Europeans>

15) China's latest Phnom Penh airport deal casts doubt on Vinci's role in Cambodian aviation
 Global Construction Review, 23 Nov 2020
<https://www.globalconstructionreview.com/news/chinas-latest-phnom-penh-airport-deal-casts-doubt/>

16) New Siem Reap airport 30% complete despite pandemic
 Phnom Penh Post, 21 June 2020
<https://www.phnompenhpost.com/national/new-siem-reap-airport-30-complete-despite-pandemic>

17) Construction of Cambodia's first expressway progresses steadily despite COVID-19 threat
 Xinhua Net, 7 May 2020
http://www.xinhuanet.com/english/2020-05/07/c_139037447.htm

18) US Sanctions over South China Sea will not affect blacklisted Chinese Construction Giant CCCC, Company says
 South China Morning Post, 31 August 2020
<https://www.scmp.com/economy/china-economy/article/3099526/us-sanctions-over-south-china-sea-will-not-affect-blacklisted>

19) 中国、南シナ海でミサイル実験 米は軍事化関連企業制裁日経新聞 26 Aug 2020

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ063090520W0A820C2M18000>

20) Phnom Penh-Sihanoukville Expressway Road Traffic Technology
<https://www.roadtraffic-technology.com/projects/phnom-penh-sihanoukville-expressway/>

21) In Cambodia, even debt-free roads lead to more Chinese influence
 Nikkei Asia, 29 Aug 2019

<https://asia.nikkei.com/Spotlight/Belt-and-Road/In-Cambodia-even-debt-free-roads-lead-to-more-Chinese-influence>

22) Over 3,000km of roads funded by China loans, says minister
 Phnom Penh Post, 6 December 2020

<https://www.phnompenhpost.com/business/over-3000km-roads-funded-china-loans-says-minister>

23) Cambodia's Forex reserves to decline in 2020
 Khmer Times, June 2020
<https://www.khmertimeskh.com/731635/cambodias-forex-reserves-to-decline-in-2020/>

24) China funds more than 3,000 km of roads in Cambodia
 Khmer Times, 10 March 2020
<https://www.khmertimeskh.com/700149/china-funds-more-than-3000-km-of-roads-in-cambodia/>

25) Insiders rejoice express way project puts Bavet fast lane
 Phnom Penh Post, 09 September 2020
<https://www.phnompenhpost.com/post-property/insiders-rejoice-expressway-project-puts-bavet-fast-lane>

26) Sihanoukville Highway work begin
 Phnom Penh Post, 5 March 2019
<https://www.phnompenhpost.com/business-post-property/sihanoukville-highway-work-begin>

27) Phnom Penh-Bavet Expressway study completed
 Khmer Times, 8 Sep 2020
<https://www.khmertimeskh.com/50761679/phnom-penh-bavet-expressway-study-completed/>

28) Government Comparing Phnom Penh-Bavet Expressway Studies by Japan and China
 Cambodia Contractors Association, 25 Nov 2020
<https://www.construction-property.com/government-comparing-phnom-penh-bavet-expressway-studies-by-japan-and-china/>

29)China deals swiftly signed

Phnom Penh Post, 12 January 2018

<https://www.phnompenhpost.com/business/china-deals-swiftly-signed>

30)China bags Cambodian airport contract in blow to French operator

Nikkei Asia, 23 Nov 2020

<https://asia.nikkei.com/Business/Construction/China-bags-Cambodian-airport-contract-in-blow-to-French-operator>

31)Cambodia Largest Airport to be ready in 3 Years

Belt and Road News, 14 May 2020

<https://www.beltandroad.news/2020/05/14/cambodia-largest-airport-to-be-ready-in-3-years/>

32)At Cambodia airports, China's Belt and Road elbows out Europeans

Nikkei Asia, 29 Jan 2020

<https://asia.nikkei.com/Business/Transportation/At-Cambodia-airports-China-s-Belt-and-Road-elbows-out-Europeans>

33)Three Chinese companies chosen to build Phnom Penh's \$1.5bn airport

Global Construction Review, 16 Jan 2020

<https://www.globalconstructionreview.com/news/three-chinese-companies-chosen-build-phnom-penhs-1/>